

1 題材名 PROFRAM 3 The 5 Rs Save the Earth (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2 目標

- know how to ~の用法や、それをういた対話や文章の内容に対する正しい理解についての確実な定着を図る。 (たしかさ)
- know how to ~を正しく用いて、自分の意見を正しく話したり書いたりすることができる力を育てる。 (ゆたかさ)
- know how to ~を用いて、間違いを恐れずに周囲の友達と助け合って言語活動に積極的に取り組もうとする態度を養う。 (たくましさ)

3 授業展開において

(1) 教材観

本題材は、私たちが日常の身近な場面で私たちが環境を守るために何ができるかを具体的に考えさせることをねらいとしている。「リサイクル」のように一般的に知られている3つのRに加え、reduce, recycle, reuse, refuse, repair の5つのRの大切さを考える。東日本大震災以降、環境保持や資源の節約に対する意識が高まっている今、生徒にとっては本題材の理念に対して共感とともに内容を理解させたい。また、本題材のセクション1、2では対話文であるのに対して、セクション3ではメール文が採用されている。文体の異なる英文に触れ、それぞれの使用場面で適切に表現する力を育てたい。

(2) 生徒の実態

本学級は、明るく意欲的な学級である。英語科の授業においては、コミュニケーション活動においては、生徒同士で助け合いながら意欲的に取り組む姿が多くみられる。

(3年5・6組少人数級C 男子13名 女子19名 計32名) (名)

1	あなたの好きな学習形態は？ ア 個人 イ ペア ウ グループ	ア	イ	ウ	
		13	6	13	
2	次のどの力を最も身に付けたいか？ ア 聞く イ 読む ウ 話す エ 書く	ア	イ	ウ	エ
		2	8	1	21
3	語を並べ替えて正しい英文にきなさい。 Ibaraki has (visit/good/to/places).	正答	語答	無答	
		25	7	0	
4	次の不定詞の用法の意味を次から選びなさい。 ア「～するための」イ「～するために」ウ「～すること」 ①I like to play sports. ②I went to a library to study math. ③I want something to drink.	正答	語答	無答	
		27	5	0	
		27	5	0	
		24	8	0	

アンケートの結果から、多くの生徒が言語に関する知識を身に付けている一方で、書く力の向上を目指している生徒も多いことが分かる。つまり、表現内容の充実や正確性を高める必要があると考える。

(3) 教育観

生徒の実態から、あらゆる言語活動を書く活動につなげることで、自分の意見に即して適切に書いて表現する力を育てたい。また、生徒の好きな学習形態の傾向を考慮し、一人で考える活動と生徒同士で意見を分かちあえる活動を組み合わせ、学習の効果を高めたい。

4 題材の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語の表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語文化についての知識・理解
言語活動において、間違いを恐れず know how to ~を活用して、自分の考えを話している。	言語活動において、know how to ~の用法を正しく用いて話したり書いたりしている。	言語活動において、know how to ~を用いた表現を正しく聞き取ったり読み取ったりしている。	Know how to ~の運用についての知識を身に付けている。

5 授業計画（6時間扱い）

次	時	授業のねらい、主な学習活動	活動に即した評価規準
二	1 時	○know how to ~の用法を正しく理解し、身近なことを表現する。 ・ know how to ~を用いてビンゴゲームを行う。	know how to ~を正しく用いて、漢字の読み方をたずねあっている。(イ)
	2	○4つ目のRについて理解することができる。 ・リサとタケシの対話を読み取る。	本文を正しく音読し、その内容についての質問に適切にこたえている。(ウ)

6 本時の学習

- (1) 目標 know how to ~の用法を正しく身に付け、運用することができる。
 (2) 主な評価規準と支援策

主な評価規準	十分満足できる状況(キーワード)	満足できる状況へ引き上げるための手立て
・間違うことを恐れず、積極的に自分の意見を話している。(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・ know how to ~を正しく活用して話している。(イ 表現の能力)	ア コミュニケーション活動への積極的な態度 イ 正確な発話	生徒の関心に訴える題材を用いて、対話の情報授受の意義を高める。学習表現をくり返し練習してコミュニケーション活動を行うことでその円滑な定着を図る。

- (3) 準備・資料 ワークシート、フラッシュカード、ピクチャーチャート、ベル、タイマー
 (4) 展開

学習活動及び内容	授業者の活動（・）と評価の視点（◎）	
	JTE	ALT
1 Greeting 2 Warm Up ・ Daily Conversation 日常会話のインプットを行う。 3 Introduction of new materials (1) Introduction of today's target ◎漢字の読み方ビンゴゲームにチャレンジしよう！ ◎know how to~を正しく用いて表現できる。 (2) Explanation of new material I don't know how to play it. (3) Pattern Practice 4 Communicative Activities (1) Interview game ・ How To Read This? (ビンゴゲーム) 漢字で表記された国名をたずね合って、その答えを記入し、ビンゴをとる。 (2) Sharing the result ・ ビンゴシートの答えを確認 ・ ゲームでわかったことを発表 Do you know how to read this? Yes, it's Canada. 5 Consolidation (1) Self-evaluation (2) Announcement for the next class 4つ目のRとは何だろう？ (3) Farewell	<ul style="list-style-type: none"> ・元気にあいさつをして、明るく楽しい英語学習の雰囲気を作り、生徒の学習意欲を喚起したい。 ・アイコンタクトや声の大きさにも注意を促し、本時の言語活動へのスムーズな導入を図る。 ・ピクチャーカードを用いて、視覚に訴えることで、単語や文のスムーズなインプットを促す。 ・パタンプラクティスはテンポに配慮し、生徒の集中力を高めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行い、活動につまずきのある生徒とともに発声し、表現を支援する。 ・パタンプラクティスや基本文の反復練習では、速度や音の高低に注意し、大きな声ではっきりと発音し、生徒の元気な練習を促す。
	<ul style="list-style-type: none"> ・制限時間を設け、内容の難易度も調整しゲーム性を高め、活動に対する生徒の意欲を喚起する。 ・生徒とともに活動しながら対話につまずきがある生徒を支援する。 ◎努力を要する状況にあった生徒の中で、know how to~を用いて間違いを恐れずに積極的にコミュニケーション活動に取り組んでいる場合は評価を上方修正する。 ◎おおむね満足している生徒の中から、コミュニケーション活動を通してわかったことを正確に書きとったり発表できた場合は、十分満足できる状態として評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに落ち着いた雰囲気の中で自己評価を行うことができるよう配慮する。 ・次時に学習する本文の内容につながるヒントを与え、生徒の興味を喚起したい。